

# 聖ヶ丘100冊の本 改訂版



年 組 番・氏名

多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

本を読むことが、読書なのではありません。自分の心のなかに失いたくない言葉の蓄え場所を作りだすのが、読書です。

長田 弘(詩人)

読書は一人のようで一人ではない。本を書いている人と二人の時間である。

斎藤 孝(教育学者)

読書の時間を大切にしなさい。一冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあります。

ジョセフ・マーフィー(アメリカの著述家)

良書をはじめて読む時は、新しい友を得たようである。前に精読した書物を読む時は、旧友と会うのに似ている。

ゴールド・スミス(英国の詩人)

#### 「聖ヶ丘100冊の本」改定にあたって

大人の視点から、中学生・高校生にぜひ読んでほしい文学作品を、日本文学から60冊、海外文学から40冊選びました。

今回の改定では、中学生に読んでほしい作品を増やし、古典的名作だけでなく2000年以前の名作という観点から選びました。

聖ヶ丘100冊の本

# 日本文学60冊

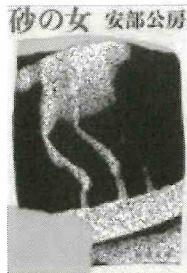


羅生門・鼻

芥川 龍之介

京の都が、天災や飢饉でさびれすぎでいた頃の話。荒れはてた羅生門に運びこまれた死人の髪の毛を、一本一本と引きぬいている老婆を目撲した男が、生きのびる道を見つける『羅生門』他、芥川の“歴史もの”短編を収録。

(新潮文庫)

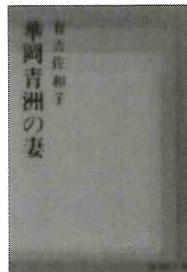


砂の女

安部 公房

砂丘へ昆虫採集に出かけた男が、砂穴の底に埋もれしていく一軒家に閉じ込められる。考えつく限りの方法で脱出を試みる男。家を守るために、男を穴の中にひきとめておこうとする女。そして、穴の上から男の逃亡を妨害し、二人の生活を眺める村の人々、人間存在の極限の姿を追求した長編。

(新潮文庫)



華岡青洲の妻

有吉 佐和子

世界初の全身麻酔による乳がん手術に成功した紀州の医師華岡清洲。その麻酔剤「通仙散」を完成させるために進んで自らを人体実験に捧げる妻と母。そのすべてを冷徹に見つめる妹。女流文学賞を受賞した力作。

(新潮文庫)



## 剣客商売

池波 正太郎

老中田沼意次が権勢をふるった江戸時代中期を舞台に、剣術ひとすじに生きる白髪頭の粹な小男・秋山小兵衛と浅黒く巖のように逞しい息子・大治郎の名コンビが、縦横無尽に活躍する連作短編集。「剣客商売」シリーズ全13作の第一作。

(新潮文庫)



## 一握の砂・悲しき玩具

石川 啄木

いのちなき砂のかなしさよ  
さらさらと  
握れば指のあひだより落つ  
石川啄木の短歌は3行分かち書きというスタイルで、その独特のリズムが、夭折の詩人の研ぎ澄まされた感性を際立せている。

(新潮文庫)

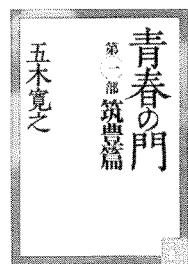


## 高野聖

泉 鏡花

奥山の一軒家に宿を乞うた旅の僧とその宿の美しい女主人。何が現実で何が幻想なのか混沌した世界に魑魅魍魎(ちみもうりょう)が現れる。話し言葉なのか、文体は途切れたり続いたりするが、僧とともに不思議な世界に取り込まれていく自分を感じてしまう。

(角川文庫)

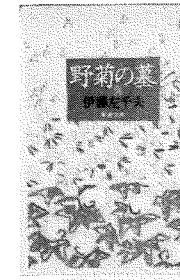


## 青春の門「筑豊篇」

五木 寛之

太平洋戦争真っただ中、九州・筑豊地方に一人の少年が生を受けた。彼の父は働いていた炭鉱で「昇り竜」と称されたが、炭鉱内の事故で早く亡くなり、義母・タエに育てられている。やがて終戦を迎え、彼は波乱に満ちた人生を歩み始める。

(講談社文庫)

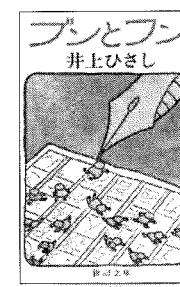


## 野菊の墓

伊藤 左千夫

江戸川の矢切の渡し近くに暮らす政夫。二つ上の従姉、民子との間にいつしか深い恋が芽生える。その恋が確信に変わったとき、大人の世間体により二人は引き裂かれる。民子は嫁に行くが病死。二人の純粋な恋が、牧歌的な情景の中で輝く。

(新潮文庫)



## ブンとフン

井上 ひさし

「ブンとは何者か。ブンとは時間をこえ、空間をこえ、神出鬼没、やること奇抜、なすこと抜群、なにひとつ不可能はなく・・・」。フン先生の書いた小説の主人公、四次元の大泥棒ブンが現実の世界に飛び出し、世界は大混乱。奇想天外な井上ワールドのデビュー作。

(新潮文庫)

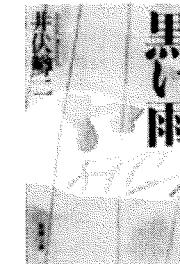


## しろばんば

井上 靖

大正初期の伊豆湯ヶ島の山村。山々が暗緑の暮色に沈んでゆく冬の黄昏時には、綿くずのような白い小さな生きものが浮漂し始める。子供たちはそれを「しろばんば」と呼んだ。両親や弟妹から一人離れて、のどかな村で暮らす少年の物語。

(新潮文庫)



## 黒い雨

井伏 鰐二

原爆が投下された後に降る雨は、放射性物質を含んでいるだけでなく、周辺を燃やして生じた煤で黒くなる。その雨を「黒い雨」と言う。「黒い雨」に直接打たれたり、飲料水として飲むだけで被爆してしまう。被爆者の肉体的、精神的な不安を通して平和の大切さを訴える作品。

(新潮文庫)

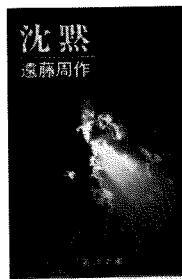


## 江戸川乱歩短編集

江戸川 亂歩

乱歩のデビュー作『二銭銅貨』を始め代表作を収めた短編集。外国の推理物も面白いが、緻密な物語の構成と、巧みな「ことば」遣いは日本語ならでは。『白昼夢』では思わず読み手の心臓が飛び出しそうになる。

(岩波文庫)



## 沈黙

遠藤 周作

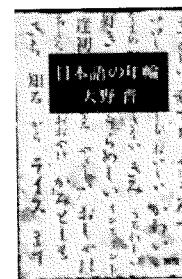
江戸時代、キリストン弾圧のさなかで日本に上陸したポルトガル人司祭の波乱に満ちた人生を描いた作品。「信仰」を守り広めるために、ポルトガル人司祭は命がけで潜伏し布教するが、「信仰」を守るために殉教する信徒の姿を見るうちに疑問が生まれていく。(新潮文庫)



## 野火

大岡 昇平

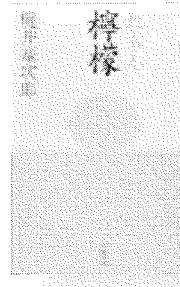
太平洋戦争末期、日本の敗戦が濃厚となりつつあるフィリピン・レイテ島。主人公の田村は肺病を患い、部隊からも野戦病院からも追われ、ただ一人野山を放浪する。死を直前にした状況を生き延びる、人間の行動と精神を描く戦争文学の代表作です。(角川文庫)



## 日本語の年輪

大野 晋

日本語のありようを、どこまでも追求した著者の、事始めともいるべき一冊。「古文单語」としてのことばではなく、人の思いを伝えることばの息づかいが伝わってくる。巻末の「日本語の歴史」は、著者のライフワークである。(新潮文庫)



## 檸檬

梶井 基次郎

肺を病み、憂鬱に心を潰されそうになりながら京都の街を彷徨っていた私は、果物屋で目に留まったレモンを買う。その冷たさと香りに幸福を感じて…。表題作の他、代表的な短編を収録。(新潮文庫)



## 伊豆の踊子

川端 康成

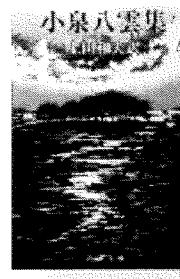
旧制高校生である主人公が孤独に悩み、伊豆へのひとり旅に出かける。途中、旅芸人の一団と出会い、そのなかの踊子に、心をひかれてゆく。清純無垢な踊子への想いをつのらせ、孤児意識の強い主人公の心がほぐれるさまは、清冽さが漂う美しい青春の一瞬…。(新潮文庫)



## どくとるマンボウ航海記

北 杜夫

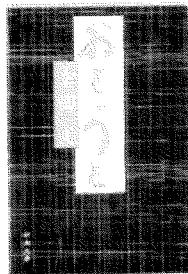
ふとしたきっかけで半年間、水産庁漁業調査船「照洋丸」の船医となつた北杜夫が日本から東南アジアを経由してヨーロッパへ向かう航海記。まだ、日本人にとって海外旅行が珍しかった時代の興味深いユーモア満載のエピソードを楽しむことができる。(新潮文庫)



## 小泉八雲集

小泉 八雲

有名な「耳なし芳一」や「雪おんな」など、日本の民話に題材をとつた小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の名作集。それ以外の作品もすべて一読に値する。読み進めて行くうちにどんどん彼の世界にひき込まれていく。(新潮文庫)



## おとうと

幸田 文

高名な作家で、自分の仕事に没頭している父、悪意はないが冷たい継母、夫婦仲もよくはなく、経済状態もよくない。そんな家庭の中で十七歳のげんは、三つ違いの弟に母親のようないたわりをしめしているが、弟はまもなく崩れた毎日を送るようになり、結核にかかってしまう。

(新潮文庫)

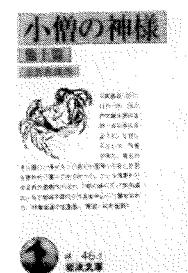


## 岳物語

椎名 誠

山登りの好きな両親が山岳から名付けたシーナ家の長男・岳少年は、「おとうなんてエラくない！」と親をもバカにするナマイキざかりの小学生。プロレスと釣りが大好き、ケンカも一番。そんな息子の成長を描いた愛情物語。著者初の明るい私小説。

(集英社文庫)

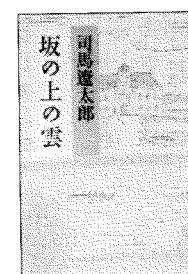


## 小僧の神様－他十篇

志賀 直哉

神田の秤屋で奉公をしている仙吉（小僧）は、早く大人になって美味しい寿司を食べられる身分になりたいと思っていた。ある日貴族議員のAが仙吉に寿司を奢ってくれる。仙吉はAは神様ではないかと思い始める。ほのぼのとしたファンタジー的作品。

(岩波文庫)



## 坂の上の雲 1~8

司馬 遼太郎

明治維新を成し遂げた日本が、先進国の仲間入りを急いだ時代、松山出身の秋山好古・真之兄弟、正岡子規の三人の青年を軸に、明治初期から日露戦争勝利までを描いた長編小説。この時代に生きた若者達が志したもの、彼らの生き様を現代の若者にぜひ読んでもらいたい。

(文春文庫)



## 破戒

島崎 藤村

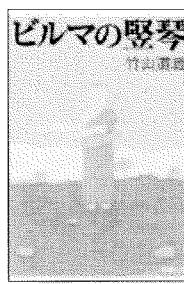
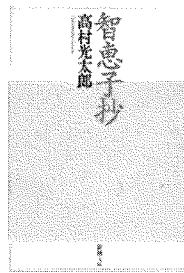
被差別部落出身の青年教師、瀬川丑松は、「素性を隠せ」という父親の戒めを守りつつ教壇に立つ。告白する勇気を持てず、自己の偽りに対する苦悩が続く。しかし、自分と同じ境遇でありながら堂々と闘った猪子蓮太郎の死により、父の戒めを破り告白する決意をする。

## 智恵子抄

高村 光太郎

妻、智恵子との「人類の泉」と讃えた恋愛時代から、「東京に空が無い」と語り合った幸福な結婚生活を経て、夫人の発病、妻の死後なお募る思いを、「智恵子の裸形を残して、わたくしは天然の素中に帰ろう」と歌った全生涯を貫く稀有な愛の詩集である。

(新潮社)

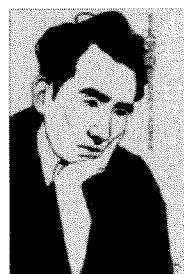


## ビルマの豊琴

竹山 道雄

ビルマの戦線で英軍の捕虜になった日本軍の兵隊たちにも、やがて帰る日がきた。が、ただひとり帰らぬ兵士があった。ただ無言のうちに思い出の豊琴をとりあげ、戦友たちの合唱にあわせ、はげしくかき鳴らす。戦後の荒廃した人々の心の糧となった作品。

(新潮文庫)

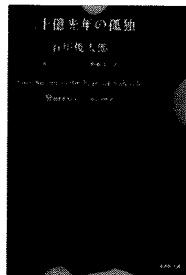


## 走れメロス

太宰 治

自身の本音か否か——ただひたすらに怠けている自分を“いろは”で連ねた、太宰の意外な一面に会える「懶惰の歌留多」。なにかをはじめると、トカトントンという音が頭に響き、すぐにやる気をなくしてしまう青年の苦悩を描く「トカトントン」。友情と信頼を守ろうと命がけで疾る、永遠の青春小説「走れメロス」。この他「富嶽百景」「黄金風景」の全五篇を収録。

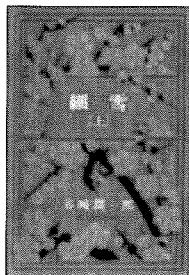
(角川文庫)



## 二十億光年の孤独

谷川 俊太郎

「二十億光年の孤独」「ネロ」「はる」「わたくしは」……ひとりの少年が見つめた宇宙、孤独、そして未来——半世紀を超えて輝き続けるデビュー詩集。詩人の原点。ひとりの少年が1対1で宇宙と向き合い生まれた、言葉のひとつひとつ。青春の孤独と未来を見つめ、今なお愛され続ける詩人の原点  
(集英社文庫)



## 細雪

谷崎 潤一郎

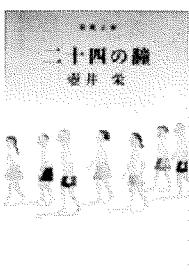
大阪船場に古いのれんを誇る蒔岡家の四人姉妹、鶴子、幸子、雪子、妙子が織りなす人間模様のなかに、昭和十一年代の関西の上流社会の生活のありさまを四季折々に描き込んだ絢爛たる小説絵巻。  
(新潮文庫)



## 時をかける少女

筒井 康隆

放課後の理科実験室でガラスの割れる音がし、甘い香りがただよう。このにおいを私は知っている。そう感じたとき、芳山和子は不意に意識を失い床に倒れてしまった。そして目を覚ました和子の周囲で、時間と記憶をめぐる奇妙な事件が次々に起こり始めた。  
(角川文庫)



## 二十四の瞳

壺井 栄

瀬戸内海に浮かぶ小豆島の小学校へ赴任した大石先生と先生を慕う12人の子供たちの物語。開戦とともに彼らも否応なしに戦争に巻き込まれ、それぞれの人生を生きていく。その中で、懸命に生きる人々の様子と壺井栄の戦争に対する考えが描かれている。  
(新潮文庫)



## 李陵・山月記

中島 敦

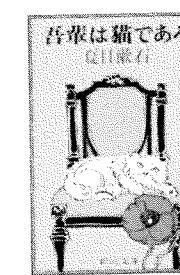
前漢の武帝の時代。侵略をくりかえす匈奴を討つために北辺の地へ向かった李陵であったが、やむなく捕虜となってしまう。その李陵を弁護した歴史家・司馬遷は、宮刑に処され——。時代の波に翻弄される男たちの姿を描き、「人間の眞の美しさ」を問う『李陵』他、漢籍に材を採った作品全七篇を収録。  
(新潮文庫)



## 汚れちつまつた悲しみに…

中原 中也

昭和12年、350編の詩を残し夭折した中原中也の詩集。「汚れちつまつた悲しみに」他、代表的な詩が収められている。中也の死後、多くの音楽家によって作曲され、歌曲や合唱曲ばかりでなく、演歌やフォークソングにも影響を与えた。  
(集英社文庫)



## 吾輩は猫である

夏目 漱石

生まれてまもなく捨てられた名もない吾輩(猫)が、苦沙弥先生の家に転がり込む。人間は不徳なものだと教えられた吾輩は、人間觀察をし、さまざまな人間模様を垣間見る。猫の眼から人間社会を風刺的に描いた、漱石最初の長編小説。  
(新潮社)



## 聖職の碑

新田 次郎

天候のすぐれない中で強行された集団登山。予定通り、小屋にはたどり着いたが、小屋は何者かによって破壊されていた。そこに、台風が襲いかかる…。大正期に、長野県中箕輪高等小学校の木曾駒ヶ岳への登山で実際に起った遭難事故を題材とした記録文学。  
(講談社文庫)



## 戦争童話集

野坂 昭如

焼け跡に始まる青春の喪失と解放の記憶。クジラや雌狼・ひからびた象といった動物や、痩せた少年やお母さんが登場する、戦争の悲惨な極限に生まれた非現実の愛とその終わりを描く、万人のための童話集。（中公文庫）



## 古事記物語

福永 武彦

8世紀に書かれた『古事記』を、物語風に仕立て直した作品。スサノオノミコトの大蛇退治、イナバの白ウサギ、ヤマトタケルノミコトの冒險など、日本民族の大らかな息吹きを生き生きと伝える神話が収められている。（岩波少年文庫）



## 兎の眼

灰谷 健次郎

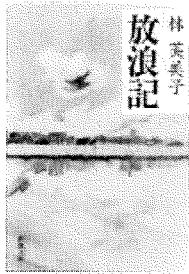
塵芥処理所の近くにある小学校に赴任した女性新任教師は、周囲との触れ合いの中で、苦しみながらも問題を抱えた生徒と向き合っていく。生きることとは何か、教育とは何かを考えさせられる作品。（角川文庫）



## 本所しぐれ町物語

藤沢 周平

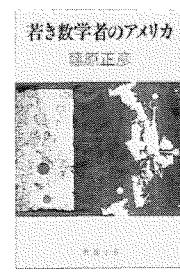
江戸時代の本所深川、架空の町「しぐれ町」の住人たちの心に、起こっては消える小さな波紋、微妙な気持の流れ。市井の人々の哀感をしみじみと描く、時代小説の名匠藤沢周平によるさまざまなドラマに満ちた連作短編集。（新潮文庫）



## 放浪記

林 芙美子

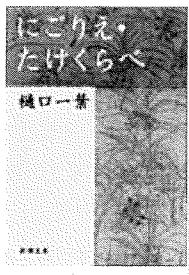
日記風に書きとめた雑記帳をもとに構成した、若き日の自伝。放浪記というとどうしても2017回の舞台を演じた森光子さんが著者に重なり、底抜けに明るいイメージがあるが、尾道の海の描写が切なく、芙美子の心の孔を感じさせる。（新潮文庫）



## 若き数学者のアメリカ

藤原 正彦

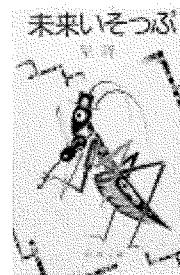
1972年夏、ミシガン大学に研究員として招かれる。翌年春、フロリダの浜辺で金髪の娘と親しくなりアメリカに溶け込む頃、難関を乗り越えてコロラド大学助教授に推薦され、週6時間の講義をする。自分の全てをアメリカにぶつけた青年数学者の躍動する体験記。（新潮文庫）



## にごりえ・たけくらべ

樋口 一葉

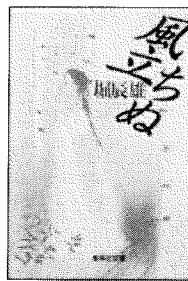
社会の底辺で悶える女を描いた「にごりえ」。14歳の美登利と、ゆくゆくは僧侶になる定めの信如との思春期の淡い初恋を描いた「たけくらべ」。他に「十三夜」「大つごもり」等、明治文壇を彩る天才女流作家一葉の、人生への哀歎と美しい夢を織り込んだ短編全八編。（新潮文庫）



## 未来いそっぷ

星 新一

アリとキリギリス、ウサギとカメなど誰もが知っているイソップの寓話を、現代的な教訓と併せて大胆に改作した連作集「いそっぷ村の繁栄」を始め、楽しい笑いと痛烈な風刺で別世界へと案内してくれるショートショート33編。（新潮文庫）



## 風立ちぬ

堀 辰雄

肺結核による「死」という別れが間近にあるのを知りながら「愛」を確かめ合う二人。しかし、決して「絶望」を訴えてはいない。極限の中でこそかえって際立つ「愛」の崇高さを描き、作品全体には清澄な世界が形づくられている。

(集英社文庫)

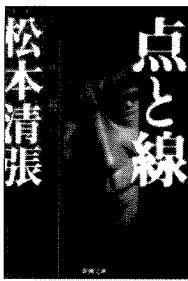


## ふたりのイーダ

松谷 みよ子

広島に近い花浦の祖父母の家に預けられた小学4年生の直樹が、夕暮れのお堀端で、「イナイ、イナイ、ダレモイナイ」とつぶやきながら通り過ぎる木の椅子に導かれ、たどり着いた一軒の洋館。少年の一夏の冒険を通して、原爆の記憶が鮮やかによみがえる。

(青い鳥文庫)



## 点と線

松本 清張

福岡の荒涼とした海岸で、男女の死体が発見された。汚職事件に関わっていた男とその愛人の心中と断定されたが、それに疑問を抱いた刑事が捜査を開始した。しかし、浮かび上がった容疑者には、当時北海道にいるという、鉄壁のアリバイがあった。

(新潮文庫)



## 塩狩峠

三浦 綾子

札幌に向かう列車から一両の客車が外れ、暴走を始める。その列車の乗客の一人である永野信夫が、自らの命を犠牲にして暴走を始めた客車を停車させ、乗客の命を救う。実際に起きた事故をもとに、一人の青年の生涯を通して、愛と信仰について考えさせられる作品。

(新潮文庫)

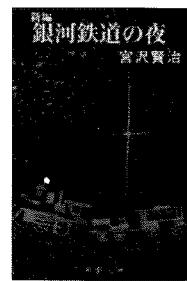


## 金閣寺

三島 由紀夫

金閣寺の徒弟である主人公は、金閣の美しさは焼け滅ぼるという幻想を抱くが、やがて金閣を支配するために放火することを決意する。1950年7月1日、「国宝・金閣寺焼失。放火犯人は寺の青年僧」という衝撃のニュースが流れた。

(新潮社)

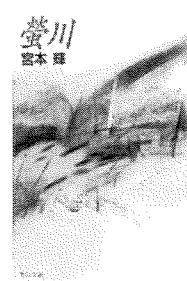


## 銀河鉄道の夜

宮沢 賢治

星祭りの夜、孤独な少年ジョバンニは、丘の上で銀河鉄道に乗り込み、友人カムパネルラと銀河鉄道の旅に出る。旅の終わりに、ジョバンニは、カムパネルラと共に歩もうと誓いをかわすが、カムパネルラは消えてしまう。

(新潮文庫)

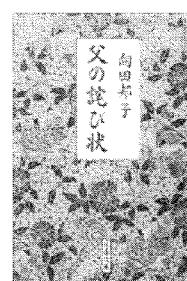


## 螢川

宮本 輝

主人公竜夫は中学3年生。幼なじみの英子への恋心をつのらせる。そんな中で、父親の重竜が脳溢血で倒れ死亡する。ある日、竜夫は知り合いに誘われ、英子らとともに川の上流に向かった。そこには、一緒に見た男女は結婚する運命にあるという螢の大群が群がっていた。

(角川文庫)

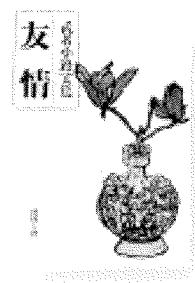


## 父の詫び状

向田 邦子

著者は、短篇の連作「花の名前」「かわうそ」「犬小屋」で第83回直木賞を受賞。表題作ほか24編の短編に、昭和の頑固親父と、その家族の肖像があたたかく綴られている。

(文春文庫)



## 友情

武者小路 実篤

脚本家の野島は、芝居を見に行った時、友人の妹・杉子に出会う。杉子に強く惹かれた野島は、良き理解者であり親友の大宮に思いを打ち明けるが—。友情と愛情をテーマにした、恋愛小説の傑作。

(新潮文庫)



## ブンナよ、木からおりてこい

村上 勉

トノサマガエルのブンナは、跳躍と木登りが得意で、大冒険好き。高い椎の木のてっぺんに登ったばかりに、恐ろしい事件に会い、世の中の不思議を知った。「生きてあるとは、かくも尊いものなのか」—。全ての母親と子供たちに心を込めて贈る感動の名作。

(新潮文庫)



## 山椒大夫・高瀬舟

森 鳴外

「山椒大夫」は、安寿と厨子王の物語としても親しまれている。人買にだまされ、親子離ればなれの生活を余儀なくされた姉の安寿と弟の厨子王。安寿は厨子王を密かに逃がすが命を落とす。国守となった厨子王は、長い苦難の末母と再会する。「高瀬舟」他全12編を収録。

(新潮文庫)



## 遠野物語

柳田 国男

岩手県の遠野にまつわる民話、昔話を119話を短い文章でまとめたもので、河童や天狗、座敷童子などの妖怪なども登場する。ひとつひとつは短い話であるが、読みだ後にいろいろ想像できるところが「遠野物語」の魅力である。

(新潮社)

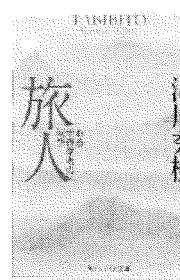


## 赤ひげ診療譚

山本 周五郎

江戸時代、「赤ひげ」と呼ばれる医師新出去定と青年医師保本登と小石川養生所に集まる庶民を描いた作品。弱者に徹底的に寄り添い、権力に屈しない赤ひげは、しかし、「医は仁術」という安易な言い方を嫌う。

(新潮文庫)



## 旅人

湯川 秀樹

日本人初のノーベル物理学賞学者のエッセイ。人生や学問の道は、地図を持たない「旅人」のようなもの。未知のことへの挑戦するとき、回り道をしながらも自分で道を作らなければならない。自身の物理研究の歴史をたどりながら、生き方の指針を教えてくれる。

(角川ソフィア文庫)

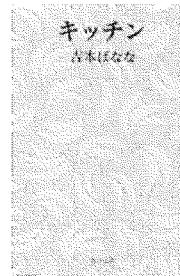


## 夏の庭

湯本 香樹実

町外れに暮らす一人の老人をぼくらは「観察」し始めた。老人が死ぬ瞬間をこの目で見るため—。いつしか少年たちの「観察」は、老人との深い交流へと姿を変え始めていたのだが…。喪われゆくものと、決して失われぬものに触れた少年たちを描く清新な物語。

(新潮文庫)



## キッチン

吉本 ばなな

唯一の肉親の祖母を亡くしたみかげが、祖母と仲の良かった雄一とその母(実は父親)の家に同居する。日々の暮らしの中、何気ない二人の優しさに、みかげは孤独な心を和ませていくのだが…。世界二十五カ国で翻訳された永遠のベスト・セラー小説。

(角川文庫)



## 遠き落日

渡辺 淳一

野口英世の生涯を描くノンフィクション小説。野口の伝記と言えば、小さい頃のやけどをバネとして…という偉人伝説が思い浮かぶが、この作品は、ありのままの人間・野口を描いている。  
(講談社文庫)

聖ヶ丘 100 冊の本

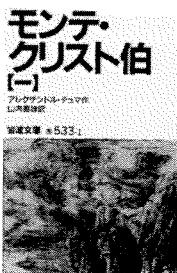
## 外国文学40冊



## オリエント急行の殺人

アガサ・クリスティ

イスタンブールとパリを結ぶ長距離列車のオリエント急行。積雪で立ち往生する車内で殺人事件が起きる。乗客達の証言で、互いのアリバイが証明され、犯人は見当たらない。たまたま同列車に乗り合わせた名探偵ポアロ。さて事件の真相は？  
(ハヤカワ文庫)



## モンテ・クリスト伯

アレクサンドル・デュマ

船長への昇進、恋人メルセデスとの結婚を控え前途洋々のダンテス。そこに恋敵や昇進をねたむもの、野心家の邪魔が入り、結婚式当日彼は逮捕され無実の罪で孤島の監獄に幽閉される。そこからの脱出、復讐、恋人との再会。手に汗握る冒険ロマン小説。  
(新潮文庫)

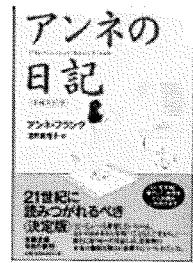


## 絵のない絵本

アンデルセン

屋根裏部屋に住む貧しい青年画家に、毎晩月が話しかける。月は世界中を照らし、そこで見たいろいろな出来事を話してくれる。恋人たちや愛らしい子供の情景、アンデルセン自身の挫折や憧れた女性をモデルにしたお話。33夜の短いお話を絵にするのはあなた！  
(集英社文庫)



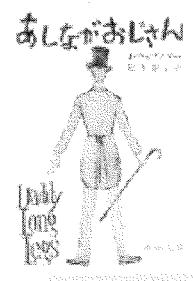


## アンネの日記

アンネ・フランク

ユダヤ人の少女アンネが、13歳の誕生日から、ナチスに捕まるまでの2年間を書き綴った日記。ユダヤ人たちの生活や、潜伏生活について、彼女の目を通して様々な日常が描かれている。平和な世界に生まれた私たちだからこそ読んでおきたい一作。

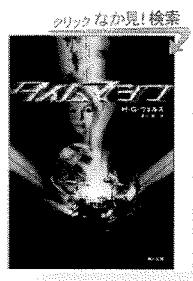
(文春文庫)



## あしながおじさん

ジーン・ウェブスター

孤児ジュディに訪れた幸運。学校生活を書き送る、という条件で大学進学を支援してくれる「あしながおじさん」が現れる。ジュディは毎日の発見と感動を挿絵つきの手紙に書き、あしながおじさんに送り続ける。(新潮文庫)

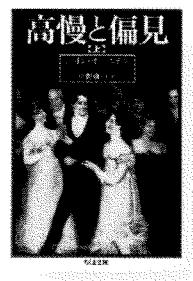


## タイムマシン (H・G・ウェルズ)

伊藤和彦

時空を超えて旅をする。そんな話を今から100年以上前に考えた人がいるだけで驚きだが、作品冒頭の次元の話など、21世紀に読んでも新鮮な感じがするのはすごいことである。

(角川文庫)



## 高慢と偏見

オースティン

17・18世紀の英国の片田舎を舞台に、地主階級の女性の結婚事情と、誤解と偏見から起こる恋のすれ違いを描いた恋愛小説。モームは世界の大小小説のNO.2とし、夏目漱石も「文学論」で、作者オースティンを“写実の大作家”と激賞している。

(ちくま文庫 上下2巻)

O・ヘンリ短編集  
大久保洋子訳



## O・ヘンリ短編集 (1) ~ (3)

O・ヘンリ

O・ヘンリの作品と言えば、誰もがどこかで一度は読んだことがあるだろう。読みやすく分かりやすく、時間がない時にもさらりと読める、人間への暖かいまなざしにあふれた作品集。

(新潮文庫)

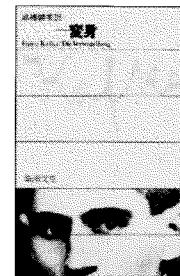


## 若草物語

オルコット

南北戦争時代のアメリカを舞台に、牧師として従軍した父の留守を守る個性豊かで魅力的な四人姉妹は、母を助け、貧しいながらも誠実さと希望をもって日々を過ごし、人間として成長していく。著者の少女時代を題材とした感動作。

(新潮文庫)



## 変身

カフカ

布地の販売員をしている青年グレゴル・ザムザは、ある朝自室のベッドで目覚めると、自分が巨大な毒虫になってしまっていることに気が付く。物語は彼と家族のその後の日々を描く。いったい彼は何のために虫になり、そして……。

(新潮文庫)



## ティファニーで朝食を

カポーティ

第二次大戦下のニューヨークで、居並ぶセレブの求愛をさらりとかわし、社交界を自在に泳ぐ新人女優ホリー・ゴライトリーと駆け出し小説家の僕の物語である表題作他、端正な文体と魅力あふれる人物造形で著者の名声を不動のものにした作品集。

(新潮文庫)

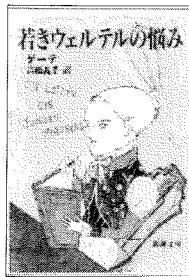


## 異邦人

カミュ

母の死の翌日海水浴に行き、映画をみて笑いころげ、人を殺害し、その動機について「太陽のせい」と答え死刑判決を受ける。通常の論理的な一貫性が失われている男ムルソーを主人公に、理性や人間性の不合理を追求したカミュの代表作。

(新潮文庫)

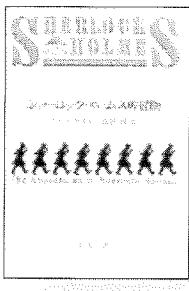


## 若きウェルテルの悩み

ゲーテ

青年ウェルテルは、親友のいいなづけであるシャルロッテと出会い、恋に落ちてしまう。ウェルテルのひたむきな愛と苦悩、そして破局に向かうまでを、書いた作品。この作品は、ゲーテ本人の恋愛体験をもとに書かれている。

(新潮文庫)



## シャーロック・ホームズの冒険

コナン・ドイル

「まだらの紐」や「ボヘミアの醜聞」など、シャーロック・ホームズ短編集の中でも、著名な作品が多数収録されている一冊。友人ワトソンとの軽妙な会話から、ホームズの推理が展開されていく。

(新潮文庫)

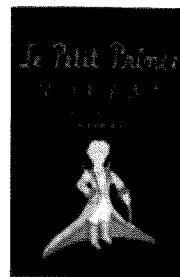


## ライ麦畑でつかまえて

サリンジャー

純粋な若者の、欺瞞と嘘にあふれた大人社会に対する反発がテーマ。まさに今、青春まったく中で葛藤するあなたにこそ読んでほしい作品。主人公ホールデンの言動に自分を重ね合わせ、読後、自分が1人でないことに気づくことだろう。

(白水社)



## 星の王子さま

サン=テグジュペリ

サハラ砂漠に不時着した飛行機の操縦士である「ぼく」が、だれもいないはずの砂漠の中で途方にくれていると、さまざまな星を巡り地球に降り立った「王子」と出会う。「王子」が「ぼく」に教えてくれたものは…。

(集英社文庫)



## ヴェニスの商人

シェイクスピア

貿易の中核として栄える運河の街ヴェニス。無一文のバッサーニオは愛する人に求婚するため、友人アントニオに資金援助を頼み込む。手持ちがない彼は宿敵の高利貸シャイロックから借金をするが、期日までに返済ができなくなり、裁判にかけられることになってしまう。

(岩波文庫)



## 狼王ロボ シートン動物記

シートン

55編のシートンの動物物語の中で、最も早期に発表された代表作。19世紀末のアメリカ、シートンは牧場の家畜を襲い害獣とされていた狼の群れを追跡する中、群れを統率し鮮やかな狩りを行う「ロボ」の賢さに驚嘆する。また、人に屈しない狼王としての気高さに敬服する。

(集英社文庫)

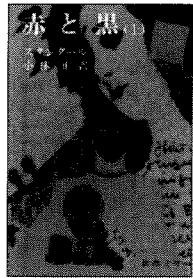


## 十五少年漂流記

ジュール・ヴェルヌ

ニュージーランド・オークランド市の少年達が、夏休みにニュージーランド一周の船旅に出かける。ふとしたことから船は嵐にもまれて無人島に漂着。ここから15人の力を合わせた自力の生活が始まる。幾多の困難を越えて絆を深める少年達。彼らの長い夏休みは2年に渡る。

(新潮文庫)



## 赤と黒

スタンダール

野心に満ち冷静で論理的な思考をもつジュリアンが、恋愛感情のもつれから人生を棒に振るあらすじには強引で意外な印象を受けるが、これが「生きた、書いた、愛した」の墓碑銘を持つスタンダールによる、フランス文学の代表作と考えれば納得できよう。 (新潮文庫)

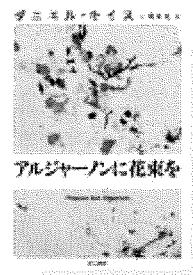


## 宝島

スティーブンソン

港の宿屋「ベンホー提督亭」に来た老海賊が宝島の地図を残して死ぬ。宿屋の少年ジムは医師のリウジーや地主のトリローニラと宝島を目指して航海に出る。船に乗り込んできたジョン・シルヴァーや海賊たちとの死闘、島での冒険、そして地図の場所にあったものは……

(新潮文庫)



## アルジャーノンに花束を

ダニエル・キイス

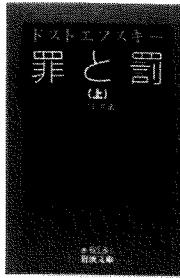
32歳になっても幼児並みの知能しかないパン屋の店員チャーリィ・ゴードン。彼はネズミのアルジャーノンと共に、大学の偉い先生の手術を受け、高い知能を手に入れれる。天才になってしまった青年の愛と哀しみ、喜びと孤独を通して、人間の真実に迫っていく世界的ベストセラー。 (ダニエル・キイス文庫)



## クリスマス・キャロル

ディケンズ

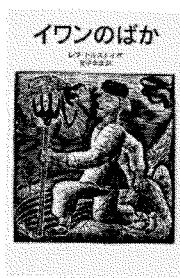
ケチで冷酷無慈悲な初老の商人スクルージは、金儲け一筋の商売を続け、人の愛などとは無縁な生活を送っている。クリスマス前夜、スクルージの前に三人の精霊が現れ「過去・現在・未来」のクリスマスを旅する中で、彼の心は動かされる。クリスマス・ストーリーの代表作。 (新潮文庫)



## 罪と罰

ドストエフスキイ

ラスコーリニコフ同様、傲慢、虚栄心といったマイナス面と良心、愛といったプラス面の両方を持っているのが「人間」であり、これを読んだ全ての人が自分の内にひそむ人間性をラスコーリニコフの中に重ねることになるだろう。 (岩波文庫)

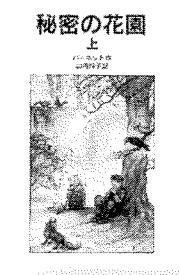


## イワンのばか

トルストイ

ロシアの文豪トルストイの創作民話。イワンは「ばか」で正直で心の優しい働き者。2人の兄はお金や地位を求めイワンを利用する。それでもイワンは欲を出さずにコツコツと働き、最後は3兄弟に取りついた悪魔までも退治する。正直者が馬鹿を見ない、温かなお話。

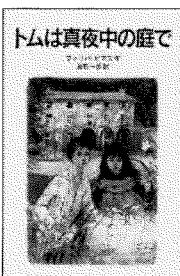
(岩波少年少女文庫)



## 秘密の花園

バーネット

インドでコレラのため孤児となったメアリーは、英国ヨークシャーに住む伯父の屋敷に引き取られる。10年前に妻を失って以来1年の大半を旅に出る伯父の留守中、メアリーは壁に囲まれた庭園を見つける。その庭園には魔法がかけられていて・・・ (岩波少年文庫)



## トムは真夜中の庭で

ピアス

ヴィクトリア朝時代の英国、せっかくの楽しい夏休みに弟がハシカになってしまい、よそのうちに預けられたトム。眠れない真夜中の寝台の中で聞いた十三時の鐘。アパートの裏口の扉をあけると、そこには昼間はなかった庭園が広がっていて・・・ (岩波少年文庫)

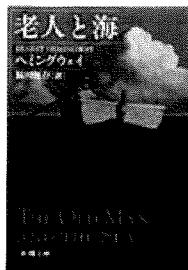


## チップス先生さようなら

ジェームズ・ヒルトン

チップス先生は、ブルックフィールドの学校に長く勤める保守的教師。頑固な一徹者だった彼は、若いキャサリンと出会って恋に落ち、結婚する。彼女と生まれてくるはずだった子供を、戦争で失ってしまうのだが、先生の人生はキャサリンによって、その後も輝き続けることになるのだった。

(新潮文庫)



## 老人と海

ヘミングウェイ

「けれど、人間は負けるように造られてはいないんだ」「そりや、人間は殺されるかもしれない、けれど負けはしないんだぞ」という老人の姿を通じて、人間の勇気を教えてくれる。また少年との会話の中に、人と人のつながりの大切さを感じさせる作品である。

(新潮文庫)

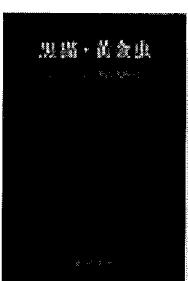


## 車輪の下

ヘルマン・ヘッセ

小さい頃から天才と言われ周囲から期待されて育ったハンス。神学校に通い、仲間達と触れあううちに、勉学一筋の自分の生き方に疑問を感じ始める。周囲の期待に押し潰されそうになるハンスは、神学校をやめ働き始めるが、今度は挫折感や劣等感がハンスを襲うようになる。

(新潮文庫)



## 黒猫・黄金虫

ポー

発作的に殺した黒猫の呪いを受けて破滅していく男の病的心理を描いた『黒猫』。ミステリーの祖ポーの、非凡な空想力で創造された、美と戦慄の作品群。(新潮文庫)



## 風と共に去りぬ

マーガレット・ミッチェル

19世紀半ばの南北戦争下、南部の上流貴族の娘スカーレットは、失恋、結婚、出産、二人の夫との死別、紳士レッドとの再婚を経験しながら、敗戦後の混乱の中で強く生きていく。スカーレットの美しく強気で前向きな人間像が、とても魅力的な作品。

(新潮文庫)



## トム・ソーヤーの冒険

マーク・トウェイン

ポリー伯母さんに塀塗りを言いつけられたわんぱく小僧のトム・ソーヤー。転んでもタダでは起きぬ彼のこと、いかにも意味ありげに塀を塗ってみせれば皆がぼくにもやらせてとやってきて、林檎も鳳もせしめてしまう。永遠の少年時代がいきいきと描かれた名作。

(新潮文庫)



## モモ

ミヒャエル・エンデ

不思議な少女モモと、時間泥棒である「灰色の男たち」との対決。モモの大好きな、空想を楽しむゆとりを子どもたちは忘れていく。忘れさせているのは、時間泥棒に時間を捧げた大人の仕業なのだ。

(岩波少年文庫)



## 月と六ペンス

モーム

ポスト印象派の画家として知られるポール・ゴーギャンをモデルとした小説。証券会社で働いていた主人公ストリックランドは突然、絵を描きたいという欲求に駆られ、家族を捨て、安定した生活を捨て、パリへと向かう。そして、本能の赴くまま、絵を描き続ける…。(角川文庫)

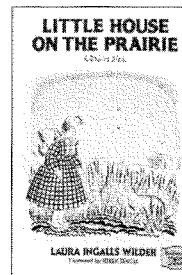


## 赤毛のアン

L・M・モンゴメリ

ふとした手違いで、年老いた兄妹に引き取られることになった、孤児アン。想像力豊かで明るい性格は、いつしか周囲をあたたかく変えていく。美しい自然の中で繰り広げられるさまざまな事件と、成長していくアンを綴った永遠の名作。

(講談社文庫)

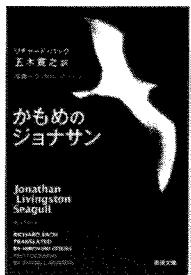


## 大草原の小さな家

ワイルダー

ローラの一家は大きな森の家を出て、馬車での長旅の末に、インディアンたちの住む草原にたどり着く。周りに頼れる人がほとんどない中で、家を建て、少しづつ暮らしを豊かにしていく。一家がインディアンに怯えながらも、強く生きていく物語。

(講談社文庫)



## かもめのジョナサン

リチャード・バック

カモメのジョナサンは飛ぶことが大好き。そのため他のカモメたちから浮いてしまい、群れを追放された。しかし、さらに訓練を重ね、「瞬間移動」の飛行技術を身につける。そして、若いカモメたちに、そのすばらしさを伝えようとしたが、なかなか理解されない。(新潮文庫)

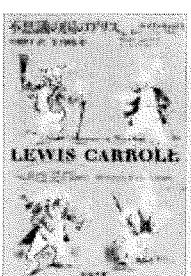
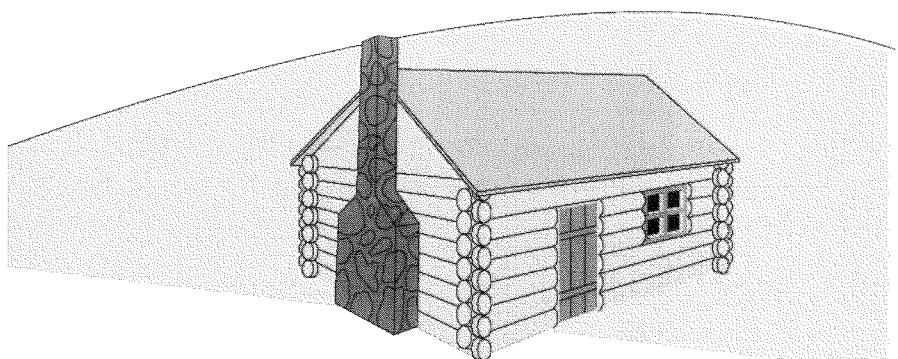


## あのころはフリードリヒがいた

リヒター

ヒトラー政権下のドイツ、人々が反ユダヤの嵐に巻き込まれていく狂気の時代に、命を落とした一人のユダヤ人少年フリードリヒの悲劇の日々を、フリードリヒの友人である主人公「ぼく」の目を通して克明に描いた作品。

(岩波少年文庫)



## 不思議の国のアリス

ルイス・キャロル

ある昼下がり、大慌てのウサギを追いかけ穴に飛び込んだアリスのたどる不思議な物語。ニヤニヤ笑うチェシャ猫や、すぐに首をはねたがるハートの女王など魅力的なキャラクターと、秀逸な言葉遊びに溢れた、永遠のファンタジー。

(新潮文庫)